



すべての人が心身ともに健康で充実した生活を送るために必要な建築環境のあり方を追求し、住宅・建築設計に活かすことを目標に教育研究活動を行っています。

略歴

1995年3月生まれ、博士（工学）。早稲田大学大学院 博士後期課程 単位取得退学。レビ設計室／中川純+池原靖史設計室（2019）、早稲田大学建築学科 助手（2021-2023）、同大建築学科 助教（2023）を経て、2024年より日本工業大学建築学部建築学科 助教に着任。東京都立大学 非常勤講師。早稲田大学 理工学術院総合研究所 招聘研究員。

研究紹介

半屋外空間の熱的快適性に関する研究

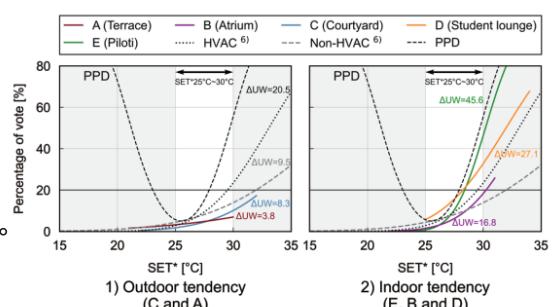
半屋外空間における環境グレードが熱的快適性に与える影響

近年、地域住民の交流や簡易な事務作業を目的として都市空間やオフィスにおける半屋外空間の導入事例が増加している。

半屋外空間の導入は、冷暖房負荷の削減や滞在者のストレス回復や気分転換に寄与する可能性が示されており、半屋外空間の重要性はさらに高まると考えられる。

大学キャンパス内の異なる空間特性を持つ半屋外空間5箇所にて物理環境測定、アンケート調査を行った。

SET*（体感温度）と不満足申告者率の関係を調査場所ごとに比較した。屋外側グレードの調査場所（中庭・テラス）において、室内側グレード（ピロティ・アトリウム・学生ラウンジ）と比べて滞在者の熱的快適域が拡張することが示された。



共同研究の実績

- 執務者の主観的幸福感に関する研究
(総合電機メーカー技術研究所との共同研究)
- ウエアラブルデバイスを用いた物理環境および生理心理量の次世代型測定手法の開発
(総合電機メーカー技術研究所との共同研究)
- 半屋外空間が執務者の知的生産性・ウェルビーイングに与える影響
(組織系設計事務所との共同研究)

主な論文発表

- Yuta Fukawa et al., Field study on occupants' subjective symptoms attributed to overcooled environments in air-conditioned offices in hot and humid climates of Asia, *Building and Environment*
- 深和佑太 他, 半屋外空間における環境グレードが熱的快適性に与える影響, 日本建築学会 環境系論文集